

各位

2019年2月4日
サイバネットシステム株式会社

マルチフィジックス解析ソフトウェア「ANSYS 2019 R1」 日本語版販売開始のお知らせ

**デジタル・ツインによる故障予知をより早く精密に！
自動運転、5G、その他電子機器設計の課題解決を強力に支援する
新機能で、より安全かつ信頼性の高いものづくりを実現します。**

サイバネットシステム株式会社（本社：東京都、代表取締役 社長 執行役員：田中 邦明、以下「サイバネット」）は、ANSYS, Inc.（本社：米国ペンシルベニア州（以下、ANSYS））が開発・販売・サポートするマルチフィジックス解析ソフトウェア「ANSYS®（アンシス）（以下、ANSYS ソフトウェア）」の最新バージョン 2019 R1 日本語版（以下「ANSYS 2019 R1」）の販売および技術サポートを 2019 年 2 月 4 日から開始することをお知らせします。



ANSYS ソフトウェアは、構造・熱流体・電磁界・回路・システムなどのさまざまな物理現象やそれらを組み合わせた連成問題を目的に合わせて柔軟にシミュレーションすることができるマルチフィジックス解析ソフトウェアです。

主なバージョンアップ項目

- システム解析
 - ✓ デジタル・ツインによる故障予知を強力に支援
- 電磁界解析
 - ✓ 自動運転、5G、電動化をサポートするソリューションを提供
- 構造解析
 - ✓ 金属 3D プリンターのパラメータを最適化する「ANSYS® Additive Science™」
 - ✓ モーターノイズ（騒音）の予測が可能
- 熱流体解析
 - ✓ 流体解析ソフトウェア「ANSYS® Fluent®」日本語対応およびユーザビリティを大幅に向上
 - ✓ GEKO(Generalized k-omega)*¹により乱流モデルのコントロールが可能に
- 3D 設計
 - ✓ 設計者向けマルチフィジックスシミュレーション「ANSYS® Discovery AIM™」にランダム振動解析機能が追加
 - ✓ リアルタイム・シミュレーション「ANSYS® Discovery Live™」にトポロジー最適化機能（ベータ機能）が追加

システム解析

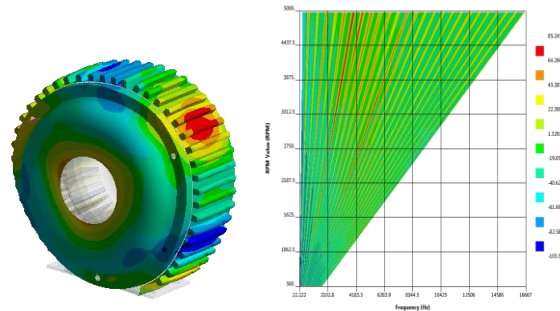
■ デジタル・ツインによる故障予知を強力に支援

システムシミュレーションプラットフォーム ANSYS® Twin Builder™ では、モデルエクスポート、ランタイム生成機能、新しい次数低減モデリング（ROM）機能、Modelica® Standard**² およびワークフローの向上、IEEE VHDL-2008 Encryption 対応などの機能追加および改善がされました。これらの機能によりデジタル・ツインをさらに高速かつ効率的に構築、検証、展開することが可能となり、より精密な故障予知を支援します。

お知らせ

■ モーターノイズ（騒音）の予測が可能

自動車の電動化によりエンジンの騒音がなくなる一方で、モーターによる騒音が新たに問題となっています。2019 R1 では、パラメータスタディ、電磁力伝達、ERP (Equivalent Radiated Power) ウォーターフォールチャートにより、モーターノイズを予測することが可能となりました。

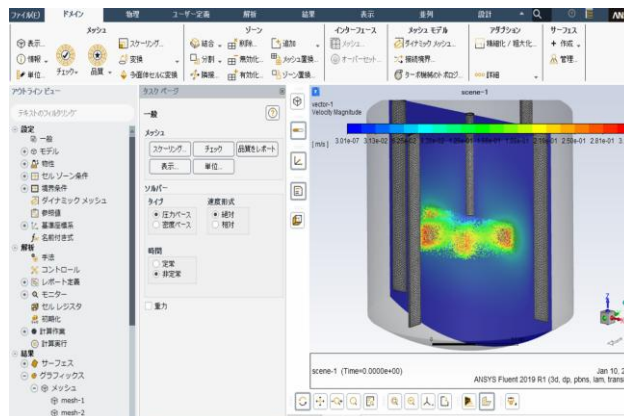


モーター振動音におけるウォーターフォールチャート

熱流体解析

■ 流体解析ソフトウェア「ANSYS Fluent」日本語対応およびユーザビリティを大幅に向上

2019 R1 では ANSYS Fluent が日本語 GUI に対応しました。さらに、より少ないクリック数、データ入力の簡略化、ドラッグ&ドロップ機能の追加など、あらゆる操作画面、操作手順でスピードとユーザビリティが向上しています。



ANSYS Fluent の日本語 GUI

■ GEKO(Generalized k-omega)により乱流モデルのコントロールが可能に

GEKO 機能の登場により、乱流モデルをアプリケーションに合わせて柔軟に調整できるようになりました。乱流の専門家 Dr. Florian Mentor によって開発された GEKO により広範囲に渡って自由に調整ができるいくつかのパラメータを提供します。

3D設計

■ 設計者向けマルチフィジックスシミュレーション「ANSYS Discovery AIM」にランダム振動解析機能が追加

ANSYS Discovery AIM では、航空宇宙および防衛産業のエンジニアにとって有用な機能であるランダム振動解析が追加されました。エンジニアは実際の環境における状況を考慮しながら、振動による変位または応力を容易に観察できるようになります。

■ リアルタイム・シミュレーション「ANSYS Discovery Live」にトポロジー最適化機能(ベータ機能)が追加

2019 R1 では、ANSYS Discovery Live でトポロジー最適化の機能(ベータ機能)が利用可能となりました。これにより、あらゆる 3D デザインに対してリアルタイムに形状の最適化を行うことができます。エンジニアは製品の強度を維持しながら大幅な軽量化を行い、従来では不可能だった形状を作り出すことが可能となります。

サイバネットシステム株式会社 〒101-0022 東京都千代田区神田練堀町3 <http://www.cybernet.jp/>

※記載されている会社名および製品名は、各社の商標および登録商標です。

お知らせ

ANSYS 2019.R1 の詳細は以下をご覧ください。

<http://www.cybernet.co.jp/ansys/product/release/ansys2019R1/>

ANSYS ソフトウェアの詳細は、以下をご覧ください。

<http://www.cybernet.co.jp/ansys/>

価格

別途お問い合わせください。

注釈

※1：GEKO (Generalized k-omega)：モデルパラメータの調整により、広範囲の物理場に適用できる乱流モデル。

※2：Modelica Standard：Modelica 協会 (<http://www.modelica.org/>)により策定・メンテナンスされているオープンなオブジェクト指向の物理モデリング言語。

※3：マルチプル：レーザー照射された金属粉末が、熔融・液状化して形成される領域。

ANSYS について

ロケットの打ち上げをご覧になったり、飛行機で空を旅したり、車を運転したり、橋を渡ったり、PC を使ったり、モバイルデバイスの画面にタッチしたり、あるいはウェアラブルデバイスを身に付けたりされたご経験はおありでしょうか。それらの製品は、ANSYS のソフトウェアを使って生み出されたものかもしれません。ANSYS は、工学シミュレーションの世界的リーディングカンパニーとして、今までにない優れた製品の誕生に貢献しています。最高水準の機能と幅広さを備えた工学シミュレーションソフトウェアの提供を通じ、ANSYS は、最も複雑な設計上の課題であっても解決を支援し、製品設計の可能性を想像力の限界まで押し広げています。1970 年に設立された ANSYS は、数千人のプロフェッショナルを擁し、その多くは有限要素法解析、数値流体力学、エレクトロニクスおよび半導体、組込みソフトウェア、設計最適化などのエンジニアリング分野で博士号、修士号を取得しています。本社を米国のピッツバーグ南部に置く ANSYS は、世界中に 75 ヶ所以上の戦略的販売拠点を有するとともに、40 ヶ国以上のチャネルパートナーとネットワークを築いています。詳細は、www.ansys.com をご覧ください。

サイバネットについて

サイバネットシステム株式会社は、科学技術計算分野、特に CAE (※) 関連の多岐にわたる先進的なソフトウェアソリューションサービスを展開しており、電気機器、輸送用機器、機械、精密機器、医療、教育・研究機関など様々な業種及び適用分野におけるソフトウェア、教育サービス、技術サポート、コンサルティング等を提供しております。また、企業が所有する PC/スマートデバイス管理の効率化を実現する IT 資産管理ツールをはじめ、個人情報や機密情報などの漏洩・不正アクセスを防止し、企業のセキュリティレベルを向上させる IT ソリューションをパッケージやサイバネットクラウドで提供しております。

サイバネットシステム株式会社に関する詳しい情報については、下記 Web サイトをご覧ください。

<http://www.cybernet.co.jp/>

※ CAE (Computer Aided Engineering) とは、「ものづくり」における研究・開発時に、従来行われていた試作品によるテストや実験をコンピュータ上の試作品でシミュレーションし分析する技術です。試作や実験の回数を劇的に減らすと共に、様々な問題をもれなく多方面に亘って予想・解決し、試作実験による廃材を激減させる環境に配慮した「ものづくり」の実現に貢献しております。

本件に関するお問い合わせ サイバネットシステム株式会社

- | | | |
|--|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ● 内容について メカニカル CAE 事業部 戦略企画部/北川 TEL : 03-5297-3208 E-MAIL : anssales@cybernet.co.jp | <ul style="list-style-type: none"> ● 報道の方は コーポレートマーケティング部/新留 TEL : 03-5297-3094 E-MAIL : prdreq@cybernet.co.jp | <ul style="list-style-type: none"> ● 投資家の方は 経営企画・IR 部/目黒 TEL : 03-5297-3066 E-MAIL : irquery@cybernet.co.jp |
|--|--|---|